

■児童・生徒の学力の状況

- 「全国学力・学習状況調査」の結果から、国語と理科は知識技能に関する問題の平均正答率が低かった。
- 算数は概ねどの分野も平均的な正答率であった。
- 記述式の問題形式の回答率は改善されている。
- 「その他の学力・学習状況の調査」の結果から、自己有用感が高いが、向社会性が低い児童が多くみられる。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 知識技能面に課題があり、用語の理解や習得すべき技能の定着を図る。
- 習得した知識技能をもとに、一人一人が思考を深めるだけでなく、友達同士で交流をしながら認め合ったり高め合ったりできるような、深い学びにつなげる指導を工夫する必要がある。
- 教員間の指導力格差を是正するためのOJT研修を実施し、学習指導力、生活指導力の向上を図る。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

- 「板橋区授業スタンダード」に基づき、単位時間の学習課題を明確にした「めあて」の設定と、それに基づいた「ふりかえり」をおこない、児童に基礎的・基本的な学力の定着と思考力・判断力・表現力等の育成を図る。
- 「板橋区授業スタンダードS」に基づき、個々の学習状況に応じた方法や内容、ペース、順序を選択することで、児童の学習に向かう意欲や学力の向上、および教員の学習指導力の向上を図る。
- 「いたばしiカリキュラム」に基づき、総合的な学習の時間や国語科の校内研究の取り組みを中心に、読み解く力や郷土愛、環境教育、キャリア教育に取り組む。
- 「いたばしiカリキュラム」に基づき、一人一台端末を有効に活用できる授業の展開やツールの活用、情報モラルに関する教員の指導力の向上を図る。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1 板橋区授業スタンダードの徹底、及び 板橋区授業スタンダードSの取組	視点2 読み解く力の育成	視点3 総合的な学習の時間との連携
○共同学習やICTを活用した学習、問題解決学習など主体的・対話的で深い学びを実現する授業を行う。 ○各学年の児童の実態に合った、段階的な自己選択・自己調整型の授業を展開する。	○児童の学習状況を見取り、全体に対する指導の工夫、一人一人のつまずきに対する個別の支援を講じ、指導を行う。	○SDGs目標⑪「住み続けられるまちづくり」を核とし、系統的、教科横断的な探究学習を行い「郷土愛の育成」を図る。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

小中一貫教育の推進 板橋のiカリキュラムの活用	カリキュラム・マネジメントの推進	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現
・加賀中学校、金沢小学校と学びのエリアにおける義務教育9年間で目指す児童像を共有する。 ・近隣保育園、幼稚園との円滑な接続のために、夏季休業中に交流の機会を設け、職員同士の思いや願いを共有する。 ・郷土愛育成の観点から、総合的な学習を中心にSDGs⑪「住み続けられるまちづくり」の学習を進め「板橋を自分の言葉で語れる子」を育成する。	・単元配列表を有効に活用し、各教科と総合的な学習の時間や特別の教科道徳の関連性を意識したカリキュラムを実施する。 ・昨年度に引き続き国語科「書くこと」の指導の充実を図る校内研究を実施する。各学年は、研究内容を国語科や学年内だけでなく、他教科にも生かしたり、他学年と関わり刺激しあったりできる「開いた学び」を意識して研究を進めることとする。	・朝学習や夏季休業中の宿題などで一人一台端末を活用したAIドリルを児童の実態に合わせて進める。 ・各学年週一回の放課後学習を実施し学習の定着を図る。 ・ICTに関するOJTや環境整備を行い、教員と児童の情報モラルの意識向上と、ICT活用のスキルアップを図る。